

東 温 だ よ り

保護者の皆さまへ

愛媛県立東温高等学校
令和 5 年 10 月 2 日

「頑張る」ということ

2年学年主任 福岡 毅

世界的なスポーツのイベントが立て続けに開催され、日本を応援しながらのテレビ観戦を楽しみにしている。本校生徒もさまざまな部活で活躍し、成果を上げている部活動もある。スポーツは結果だけではなく、生徒たちには「頑張った」ことに対する成功体験を味わって欲しいと思っている。

ずいぶん昔に、アーティスティックスイミングの日本代表ヘッドコーチの井村雅代さんの講演会を聞く機会があった。井村さんといえば、テレビで見る姿は鬼コーチ。選手を叱りつけている印象が強かったので、どんな講演になるか楽しみに聞いたことを覚えている。その中で「頑張る」という言葉についての話があった。井村さんによると選手が練習の後「頑張りました。」と言うことに違和感を覚えたそうである。「頑張る」は他人から言ってもらえる言葉で、自分たちで言う言葉ではない。この言葉は自分で言うことで自己満足になる言葉だ。」という意味のことをおっしゃった。確かに、自分で「頑張った」と言ったときには「自分は頑張ったのに」とか、「頑張りを認めて欲しい」という意味が含まれている時もある。伸びしろを考えず、満足を求めた感じもする。言葉一つにも敏感になることに感心すると共に、さすが鬼コーチと感じたことを今でも覚えている。

「頑張る」という言葉には2種類の語源があり、「眼張る（がんはる）」と「我を張る」だそう。眼張るは目を配るという意味であり、「我を張る」は意地を通すという意味である。意地を通すためには人並み以上の努力が必要だと思うし、その努力がなければ人から認められることもない。また、目を配るためにはさまざまな場面での活動を十分に観察し、そして状況を判断し、適切な対応を行うことが必要だ。「頑張る」という言葉は生徒たちには最後までやり抜く「我を張る」ことを、私たち教員は「眼張る」を求められているのかもしれない。今後も「東温高校、頑張ってるじゃない」と言ってもらえる学校でありたい。

10 月		「SNS について」	
日	曜	学 校 行 事 等	図書情報・研修課長 藤原 秀夫
1	日		SNS をきっかけとして、「高校生が悲惨な事件に巻き込まれる。」また「凶悪な事件を引き起こす。」といったショッキングなニュースが後を絶ちません。X (旧 Twitter) や Instagram 等の SNS は現代の高校生にとって、日頃の生活からは切り離せないものとなっています。私たち大人にとってのテレビや新聞のような物ではないかと思っています。「禁止するのではなく、どのように使っていくか」という指導が大変重要です。
2	月		
3	火	↑ 中間考査 (1・3年) 修学旅行 (2年) ↓	
4	水		
5	木		
6	金	↓ 進路及び類型・コース選択に関する説明会 (1年保護者) ↓	
7	土		
8	日		
9	月	(スポーツの日)	
10	火	校納金・授業料引落日 第4回合同専門委員会	
11	水	登下校指導 家庭学習時間調査 ↑	高等学校では「社会と情報」という教科において、SNS などのコミュニケーションツールの利便性ととも問題点について学習します。「自身の情報が特定される危険性があること」「不特定多数が利用しているため、トラブルに巻き込まれる可能性があること」「フェイクニュースなどの間違った情報が流布されやすいこと」などです。
12	木	坊っちゃん劇場観劇①～④ (1年) 特別支援学校交流学習会 (1年1組)	
13	金	身だしなみ指導 (1・3年)	
14	土	↑ 進研記述模試 (3年)	
15	日	↓	
16	月	月テ⑥	
17	火		
18	水		
19	木	全校集会	
20	金		
21	土	↑ 全統共通テスト模試 (3年)	東温高校では、授業以外においてもホームルームや学年集会等、必要に応じてこのような指導を行っています。ネットという閉ざされた空間での出来事は問題の把握が難しい側面もあります。是非、ご家庭においても SNS の話題を出していただき、生徒たちが悩んでいないか等、問題の把握に努めていただくようお願いいたします。
22	日	↓	
23	月		
24	火	文化祭準備	
25	水	文化祭	
26	木	デートDV 防止講座 (2年) 眼科健康相談 企業訪問⑤～⑦ (1年)	
27	金	第2回困りごとアンケート	
28	土		
29	日	↑ ねりんピック愛媛のえひめ2023	
30	月	↓ 第2回家庭クラブ料理講習会 ふれあい週間 (40分授業) ↑	
31	火		

